

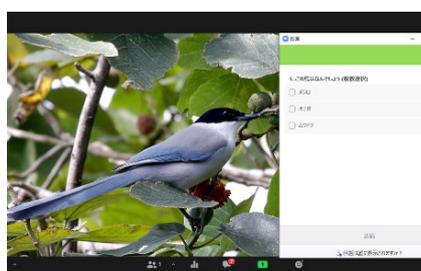
「ヒルズ街育プロジェクト」夏のオンラインプログラム
『自然とともに暮らせる街について学ぼう！環境とみどりのヒミツ探検ツアー』
 ～五感で楽しめる教材を活用しながら、親子でみどりの大切さについて学ぶ～

森ビル株式会社は、2021年7月11日(日)に、「ヒルズ街育プロジェクト」のオンラインプログラム「自然とともに暮らせる街について学ぼう！環境とみどりのヒミツ探検ツアー」を開催します。世界的にSDGsへの関心が高まり、日本においても「2050カーボンニュートラル」が宣言されるなど、国内外で環境への取り組みがますます加速する今、自宅にいながら親子で地球環境やみどりの大切さを学び、未来の街づくりについて考えるきっかけを提供します。

事前に自宅に送付される「五感で楽しむヒミツのキット」を手に取り、みどりの大切さについて学んだり、街で見かける身近な生き物に関するクイズに回答したりしながら、緑化が地球環境にもたらす価値や、みどりを増やす街づくりについて楽しく考えていきます。



ヒルズのみどりを増やす工夫を学び、「街」の視点でみどりの大切さを考える



身近な場所にいる動物・植物に触れ、「生き物」の視点でみどりの大切さを学ぶ



双方向でコミュニケーションを取りながら体験学習としてツアーを進行

「ヒルズ街育プロジェクト」オンラインプログラム概要

- ツアー名 : 「自然とともに暮らせる街について学ぼう！環境とみどりのヒミツ探検ツアー」
- 日 時 : 7月11日(日) 13:00~14:10、15:00~16:10
- 対 象 : 小学校 3~6年生のお子様とその保護者
- 募集人数 : 各回40組(定員を超える応募があった場合は抽選とさせていただきます)
- 申込方法 : ヒルズ街育プロジェクトホームページより申込(<https://www.mori.co.jp/machiiku/tour/>)
- 申込期間 : 受付中~7月1日(木)12:00
- 参加費 : 無料

ヒルズ街育プロジェクト とは

創業から約60年にわたり地域の皆さまとともに街づくりを推進してきた森ビルが、街づくりの豊富なノウハウを、未来を担う子どもたちに伝えるとともに、楽しく学びながら、次世代の都市のあり方を考える機会として実施している親子向けプログラムです。六本木ヒルズ、虎ノ門ヒルズ、愛宕グリーンヒルズなど、本物の“街”を“生きた教材”として活用し、森ビルが街づくりで大切にしている「安全・安心」「環境・緑」「文化・芸術」をテーマにしたプログラムを実施することで、街づくりを考えるきっかけを提供しています。

2007年の開催以降、延べ約15,000名の方々にご参加いただきました。一般公募によるプログラムの実施だけでなく、近隣小学校の授業の一環として同プログラムをご活用いただくことで、地域コミュニティにおける子どもの学習機会の創出にも貢献しています。

森ビルは、今後も引き続き、次代の都市づくりを担う子どもたちと共に学びながら、都市の未来、東京の未来を切り拓いてまいります。

【本件に関してのお問合せ先】

森ビル株式会社 広報室 浅野・福本

TEL: 03-6406-6606 FAX: 03-6406-9306 E-mail: koho@mori.co.jp

「自然とともに暮らせる街について学ぼう！環境とみどりのヒミツ探検ツアー」の概要

レクチャーとワークショップで構成される、約 70 分のオンラインプログラム。元麻布ヒルズで収穫されたローズマリーや、植物栽培セットを詰め合わせた「五感で楽しむヒミツのキット」を参加者の自宅に事前を送付することで、オンラインプログラムでありながら、実際に教材を手にとり、体験を通じた学びをご提供します。また、様々なクイズを出題したり、チャットによる質問コーナーを設けることで、オンラインならではの双方向コミュニケーションを積極的に取り入れてツアーを進行します。また、ツアー終了後は、学んだことを踏まえて「みどり」をテーマに街を探検する自主学習ワークを設けることで、自分が住む街を題材として未来の街づくりについて考えます。

■レクチャー：「みどりを増やす街づくりのヒミツを学ぼう」

都市における緑化について、模型を使いながらわかりやすく解説します。自分が住んでいる街のことを想像しながら、みどりを増やし、育てる街づくりのヒミツについて学びます。

■ワークショップ①：「生きものにやさしいみどりのヒミツを学ぼう」

ヒルズを事例に、身近な場所に生息する動物や植物の種類や見つけ方について、クイズ形式で学びます。また、元麻布ヒルズで収穫されたローズマリーに触れ、香りを楽しみながら、みどりが人や生き物にもたらす意外な効果について紹介します。

■ワークショップ②：「暮らしに大切なみどりのヒミツを学ぼう」

地球環境問題の中でも、都市部において課題とされている「ヒートアイランド現象」を題材に、人の暮らしと環境問題のつながりや、問題解決のヒントとなるみどりの役割を学びます。また、植物栽培セットを通じて、みどりが身近にある暮らしの魅力を体験します。



◎森ビルの環境に対する取組み

森ビルは、職・住・学・遊・憩などの様々な都市機能が徒歩圏内に集約されたコンパクトシティを理想とし、「Vertical Garden City＝立体緑園都市」の手法で都市づくりを進めています。細分化した土地を取りまとめて広大な敷地を生み出し、建物を高層化することによって生まれた広大な空地を人々や自然に開放することで、都市における環境問題の解決だけでなく、「都市と自然の共生」「都市の低炭素化」「資源循環」を推進し、未来へ繋がる持続可能な社会の実現に貢献します。

特に、今回のツアーのテーマでもある「都市と自然の共生」を都市づくりに取り入れ、地表や屋上を緑で覆うことで、自然を育み、四季を感じられる暮らしを実現しています。さらには、温熱画像（サーモマップ）で見ると、緑化された空間が周辺道路のアスファルト舗装に比べて、日中で5℃～15℃表面温度が低くなっていることがわかっており、緑地の増加を通じてヒートアイランド現象の緩和にも貢献しています。



六本木ヒルズの温熱画像（サーモマップ）

また、各ヒルズはヒルズ同士だけでなく、皇居や日比谷公園、芝公園など、市内の公園や緑地とも緑をつなぎ、生態系をつなぐ役割を果たしています。これにより、人々に憩いや安らぎをもたらす、あらゆる生き物や生息や移動を可能とするエコロジカルネットワークを形成しています。現在進行中の「虎ノ門・麻布台プロジェクト」や「虎ノ門ヒルズエリアプロジェクト」が完成すれば、このネットワークはさらに拡大していく予定です。



六本木ヒルズに生息するシジュウカラ